

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 11 月 14 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

### 高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

#### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。

#### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

### トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
1号機	・1号機タービン建屋 2号機タービン建屋	・11/11 15:42～11/13 10:45 移送実施
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/10 9:10～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/2 10:11～11/8 15:05 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・11/14 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (11/14 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 1,557 mm(水位上昇累計: 2,774 mm) 11/13 7:00 から 109 mm 下降
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,209 mm(水位上昇累計: 2,935 mm) 11/13 7:00 から 15 mm 下降

### トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (11/14 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. < + 850 mm (11/13 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,433 mm (11/13 7:00 から 4 mm 下降)	O.P.+ 4,610 mm (11/13 7:00 から 21 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,165 mm (11/13 7:00 から 6 mm 下降)	O.P.+ 3,168 mm (11/13 7:00 から 7 mm 下降)	O.P.+ 3,265 mm (11/13 7:00 から 2 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,303 mm (11/13 7:00 から 24 mm 上昇)	O.P.+ 3,092 mm (11/13 7:00 から 17 mm 上昇)	O.P.+ 3,286 mm (11/13 7:00 から 17 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,080 mm (11/13 7:00 から 25 mm 上昇)	O.P.+ 3,089 mm (11/13 7:00 から 39 mm 上昇)

## <放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	11/13	8:40	ND	0.10	0.08
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	11/13	8:20	ND	0.03	0.03
福島第二 3,4号機放水口	11/13	8:00	ND	0.03	ND
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	11/13	7:40	ND	ND	0.01

・その他、11/10 に採取した宮城県沖合6地点の海水における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

## <使用済燃料プールの冷却> (11/14 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	21.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	23.1
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	22.2
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	31

[2号機]・11/6~ 使用済燃料プール放射性物質除去装置の運転を開始。

・11/14 13:29~15:14 使用済燃料プールへヒドラジン[腐食防止剤]を注入(約2m<sup>3</sup>)。

## <原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況> (11/14 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約7.7m <sup>3</sup> /h)	37.9	38.7	122.2 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.8m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約7.3m <sup>3</sup> /h)	66.1	69.0	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.6m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約8.1m <sup>3</sup> /h)	58.3	69.8	101.5 kPaabs

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

## <その他>

- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・11/14 12:32 頃 正門前に設置している、連続的に空気中の放射性物質濃度を測定する測定器(連続ダストモニタ)において警報が発生。警報が発生した原因としては、フィルターの目詰まりによる機器異常によるものと推定され、同日13:08 頃、リセット操作を実施し、モニタリングを再開。正門付近のダスト濃度を測定したところ、 $6 \times 10^{-6}$ [Bq/cm<sup>3</sup>]であり、全面マスク着用基準値( $1 \times 10^{-4}$ [Bq/cm<sup>3</sup>])以下であることが判明。警報を受け、全面マスク着用の運用に基づき、同日12:39より、全面マスク着用の指示を出していたが、同日14:11 頃、全面マスク着用が省略可能である通常の運用へ戻すアナウンスを実施。

以上